



とよしん

海外貿易投資ニュース

2019年の最低賃金決まる、平均引き上げ率5.3% (ベトナム)

ベトナム政府は12月13日、2019年の最低賃金に関する政令157号(157/2018/ND-CP、11月16日付)を公表した。最低賃金は2019年1月1日から、月額で平均5.3%引き上げられる。1年ぶりの改定で、前回の平均引き上げ率6.5%を下回った。

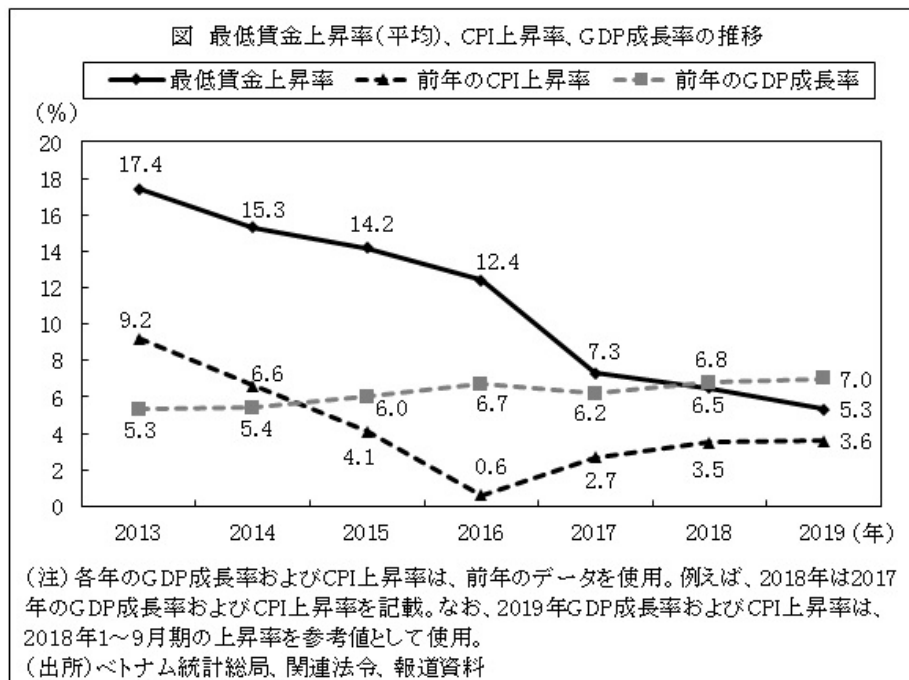
最低賃金額は、地域別に設定されており、ハノイ市、ハイフォン市、ホーチミン市を含む地域1が前年比5.0%増で418万ドン(約2万482円、1ドン=約0.0049円)、地域2(ダナン市、バクニン省など)が371万ドン(5.1%増)、地域3(ハナム省など)が325万ドン(5.2%増)、地域4(地域1~3以外)が292万ドン(5.8%増)に改定される(表参照)。

表 地域別の月額最低賃金 (単位:1,000ドン、%)

地域	現行 (2018年1月施行)	改定後 (2019年1月施行予定)	上昇率
地域1	3,980	4,180	5.0
地域2	3,530	3,710	5.1
地域3	3,090	3,250	5.2
地域4	2,760	2,920	5.8

(出所) 政令157号(157/2018/ND-CP)

政令の策定に当たっては、労働者代表の労働総同盟(VGCL)と使用者代表のベトナム商工会議所(VCCI)、政府代表の労働・傷病兵・社会省で構成される国家賃金評議会で、7月から8月にかけて議論されていた。当初、VGCL側は8%の引き上げを提案したのに対し、VCCI側は現状維持を主張するなど大きな隔たりがあったが、8月の第3回会合で平均引き上げ率を5.3%とすることで合意した。今回、政令で規定された賃金水準は、この合意に沿ったかたちとなった。最低賃金改定の議論では、前年のGDP成長率や消費者物価指数(CPI)上昇率、社会労働生産性向上率などの指標が参考とされる。最低賃金上昇率は年々下がっており、以前は前年のGDP成長率とCPI上昇率を大きく上回っていたが、近年その差は縮小、もしくは逆転している(図参照)。



(出所:ジェトロビジネス短信 2018年12月17日 9ddb9d3a5985ce07 「2019年の最低賃金決まる、平均引き上げ率5.3%(ベトナム)」)

アリペイ顔認証「トンボ」で、スマホなしでも買い物が可能に(中国)

アリババグループのアリペイは12月13日、上海市で顔認証決済端末の新製品「トンボ」を発表した。「トンボ」は書籍サイズの顔認証モニターで、店舗のレジに接続すれば、顧客はスマホを操作することなく、顔をカメラに合わせるだけで支払いが完了する。顔認証の精度は、化粧前後の判別はもちろん、双子の判別も正確にできるという。「トンボ」は、(1)従来型端末に比べて10分の1に小型化、(2)現在のレジシステムで対応が可能、(3)3Dカメラ内蔵による認証の高精度化、(4)AIシステム搭載によるディープリング機能で携帯電話番号の入力が不要、(5)従来型の無人レジより80%のコストダウンを実現、という5つのアップグレードが施された。顧客の利便性だけでなく、設置する店舗側にも恩恵があるシステムになっている。アリペイによる「ダブルイレブン(11月11日・独身の日)」のデータの分析結果によれば、60.3%のユーザーが指紋認証や顔認証による支払い方法を選択して買い物をしたという。この統計データから、中国における電子決済の分野で指紋認証や顔認証が既に浸透しつつあることが分かる。また、顔認証は新小売業界の変貌にも影響を及ぼしている。自動販売機で従来のスマホによる最速決済時間は12秒だが、顔認証決済では幾つかの手間を省けるだけでなく、最速決済時間をさらに5秒短縮することが可能という。中国における支払い形態は、現金決済からスマホ決済に変わりつつある。スマホ決済の認証方法も、パスワード方式から指紋認証や顔認証へと移行しつつあるが、認証精度の向上により、手ぶらの顔認証決済が一気に進むことが期待される。

(出所:ジェトロビジネス短信 2018年12月27日 38a6840aad1d1bf0「アリペイ顔認証「トンボ」で、スマホなしでも買い物が可能に(中国)」)

ウェルネス施設のインテリアに日本の高級木材を使用(オーストリア)

オーストリアから日本への輸出において、木材・同製品は全体の13.2%を占め、特に世界最大の生産量を誇る合成板(CLT)は有望輸出品目だ。他方、オーストリアの日本からの木材・同製品の輸入はこれまでほとんどなかったが、近年、輸入額は少ないものの増加している。ジェトロは12月11日、日本から木材を輸入しているオーストリックの創業者で最高経営責任者(CEO)のハロルド・ハインツ氏に輸入手続きやオーストリアでの需要について聞いた。その概要は以下のとおり。

同氏は、大企業の管理職を辞めた後、ニッチ市場の開拓を狙って、日本産高級木材の輸入を開始した。同氏によると、日本からの木材の輸入が少しずつ増えている要因の1つとして、オーストリアにおける近年のウェルネスブームにより、日本の温泉で見られる湯船や日本的なインテリアが増え、日本産木材への需要が増加していることを挙げた。

同社の取引相手は、日本の知人を通じて探した、「節なし」の高品質ヒノキを扱う日本の木材輸出企業だ。年間生産量が1,600立方メートルと少ないため、韓国などアジアのバイヤーとの競争は厳しいという。また、木材を確保したものの、EU側からの要求により、日本からの出荷前に取得の必要がある植物検疫証明書に関する手続きも、輸送業者にノウハウがなかったことから予定どおりに進まず、結局、日本からの出荷が3カ月以上遅れたという。さらに、EU側で輸入通関の際には検疫が必要となる。オーストリアは内陸国のため、自動車、木材やコンテナ貨物などの取扱量が最近大きく増加しているスロベニアのコペル港を利用しており、2018年11月に、ヒノキ、スギ、クスノキの丸太を積んだ日本からの初めてのコンテナがオーストリアに到着した。

ハインツ氏によると、これまでの経験を踏まえて手続きを迅速に行くと、発注から約2カ月で入荷できるという。オーストリアでは、金銭的な余裕がある人はレンガ造りの家に木製の内装をしつらえることが多く、床には固く傷がつきにくいカシを、家具には木目が美しいウルミヤカエドを、壁や天井には香りたかい欧州五葉松などが用いられる。温泉やウェルネス施設では、日本産の高級木材への新たな需要がある、と同氏はみている。

(出所:ジェトロビジネス短信 2018年12月25日 f90c59bfc5490c24「ウェルネス施設のインテリアに日本の高級木材を使用(オーストリア)」)



ハロルド・ハインツ氏、後方に立ってかけてあるのは日本から輸入したスギ

外貨両替は、とよしんへ！当金庫では17通貨を取扱っています。

次のセミナー等をご案内させていただきました。

ジェトロ食品輸出商談会 in 名古屋	名古屋	ジェトロ名古屋
ローカル企業とのビジネス発掘商談会 in バンコク	タイ	信金中央金庫
第5回ジャカルタ信金会	インドネシア	信金中央金庫
第12回バンコク信金会	タイ	信金中央金庫
海外展開のための税制基礎セミナー	名古屋	KPMGジャパン
Mfair バンコク 2019 ものづくり商談会	タイ	REED TRADEX COMPANY LIMITED, FACTORY NETWORK ASIA (THAILAND) CO., LTD



国際業務部

〒471-8601
愛知県豊田市元城町1-48

電話 0565-36-1381

FAX 0565-36-1213